

夏服の少女たち ～ヒロシマ・昭和20年8月6日（1988）

メディア TV アニメ

ジャンル ドキュメンタリー ドラマ 青春

製作国 日本

色彩 B&W/C

1988/08/07 ～

TV放映 日曜日
NHK総合

【解説】

第二次世界大戦末期、広島市に投下された原爆による悲劇を描く、実写ドキュメント映像と組み合わせられた特番アニメーション。その年、8月6日を控えたある夏の日。風呂敷包みを抱えた老夫婦が、広島市原爆資料館を訪れる。包みの中には夫婦が長い間、娘の形見として守り続けた、丁寧に畳まれた、高熱でボロボロになった女学生の夏用の制服が入っていた。そして回想される昭和20年の広島市。国内の戦禍がさらに現実味を増す夏、県立第一高等学校の二年生と三年生は工場動員に、残った二年生220人は建物疎開作業に従事していた。そしてあの悲劇の日が……。被爆体験者・大野充子の実体験をまとめた記録「夏服の少女たち～広島・昭和20年8月6日」（ポプラ社）が原作。NHKの特番「NHK特集」の中で、遺族の談話を綴るドキュメンタリー映像と、当時の実話をもとにしたアニメパートで放映された。アニメの制作はマッドハウスが担当。

【クレジット】

アニメーション演出	平田敏夫	
アニメーション制作	マッドハウス	
制作	渡辺忠美 丸山正雄	
原作	大野允子	（「夏服の少女たち～広島・昭和20年8月6日」ポプラ社）
脚本	内館牧子	
キャラクターデザイン	百瀬義行	
作画監督	百瀬義行	
美術監督	男鹿和雄	
音楽	小野崎孝輔	
語り	石野倬	
出演	杉浦圭子	
声の出演	濱田真帆 藤重すみれ 大目弘美	